



佐久市立望月小学校
学校だより



令和5年(2023年)
6月30日(金)
(担当: 教頭)

6月28日(水)に元スピードスケート選手で平昌オリンピック金メダリストの小平奈緒さんが望月小に来てくださいました。2時間目には全校体育で”究極のストレッチ”やスピードスケートの動きを教えてくださいました。その後も道徳の学習を一緒にしたり給食を一緒に食べたりしてふれあいの時間を持つことができました。

午後はPTA講演会の講師としてお話してくださり、穏やかで温かな人柄が伝わってくるようでした。計画運営していただいたPTA三役、施設厚生部の皆様、ありがとうございました。

PTA講演会 小平奈緒さん「人とつながる」

(お話の概要)

小学校の頃はとても恥ずかしがり屋でした。買い物に行ってお惣菜に割り箸をつけて欲しくてもなかなか言い出せないような子でした。しかし、スケートは大好きで、どんなにスケートの練習が厳しくても泣いたことはありませんでした(寒くて泣いたことはたくさんあったけれど)。練習が終わって、スケート靴を脱いでも、お父さんと「第2ラウンドいく?」と相談して再び練習を始めることもありました。

「人の気持ちを考えること」

小学生の時から表彰台に登れることも多かったのですが、(写真をスクリーンに映して)このときは表彰台に登れませんでした。うつむいて暗い顔をしています。負けたことが悔しくて「表彰式には行かない。」と拗ねていて母に怒られたんです。「あなたは人の気持ちがわからないの?」と。「一生懸命滑った選手たちや大会を運営する役員さん達の苦勞がわからないの?」と母に言われたことも「人の気持ちを考える」ことを大切にするようになったきっかけでした。

「中学校全国大会 友だちづくり 恥ずかしがり屋の葛藤」

中学生になると全国大会に出場できるようになりました。その時父がかけてくれた言葉は、「頑張ってこいよ。」ではなく「友達をたくさんつくってこいよ。」でした。恥ずかしがり屋の私は初めて会う全国の中学生にドキドキしていましたが、北海道の友達ことができました。スケートで出会ったたくさん仲間たち、仲間の輪は世界に広がりました。大親友のイ・サンファ、カナダのシンディー・クラッセンなど世界中に仲間ができました。

(ここで子どもたちに外国語クイズを出してくれました)

Hallo? 你好? 안녕하세요? あいさつは心の扉を開きます。私は、まわりの人を応援できる選手でいたいなと思いやってきました。いつも笑顔で。

「支えてくれる人や物を大切にする」

スケート靴は大学生の時から18年間ずっと同じ物を使ってきました。刃の部分は研ぐ度にすり減ってしまうけれど、靴の部分はずっと使ってきた。支えてくれる人を大切にする。リンクを整備してくれる人、教えてくれる人、辿っていくと人がいる。ありがたいの気持ちを持って取り組むと頑張る力が湧いてきます。

でも、人とつながるって、ただ多くの人とつながる、でいいのでしょうか。時には意地悪されたり、ひとりぼっちに悩むこともある。私の母が「かならず見ていてくれるから。」と教えてくれた。自分の力で乗り越えないとけないとき、自分のことを信じて見守ってくれる人がいることに気づくことが大切。それが救いになる。私自身も信じて寄りそって見守る人、応援できる人になれるといいなと思う。

人とつながりは、心を豊かにしてくれる。

(子どもたちから小平さんへの質問)

- | | |
|-----------|---|
| 1年 橋詰一朗さん | Q どうしたら金メダルが取れますか。
A たくさん練習して、よく休んでまたトレーニング。大きくなったら金メダルをとってください。 |
| 2年 竹上芽吹さん | Q どんな小学生でしたか。また、どんな小学生だと世界一になれるか。
A 恥ずかしがり屋でマラソン大会とかドキドキするのは、そこに挑戦したい気持ちがあるから。チャレンジする気持ちが持てればNO.1になれる! |
| 3年 井出明希さん | Q 緊張しないで力を出すためにしたことはありますか? 緊張しないために |

きることを教えてください。

A手足が震えるくらい緊張するときは深呼吸。吐くところから始めると酸素がたくさん吸える。

4年 比田井康介さん Q 平昌オリンピックで、イ選手とウィニングランしている時は、どんな気持ちで、どんな言葉をイ選手にかけましたか。

Aたくさんのプレッシャーの中でよく頑張ったね。あなたをリスペクトしているよ。と声をかけました。

5年 清水絢音さん Q スケートをはじめたきっかけは何ですか。金メダルを取ったとき、最初に考えたことはどんなことですか。

Aそこにスケートリンクがあったから。お姉ちゃん達がスケートをやっていたから、一緒にリンクに行って3歳からスケート靴を履いていました。誰かに勝ったことより、「自分の足でここまで登ってこられた。たくさんの人に支えてもらった。」と思いました。

6年 深野 頌さん Q 壁にぶつかる時があったと思います。小平さんは、そんなときにどのようにして自分を鼓舞してきましたか。

A思うようにいかなかったとき、負けたとき、つぶやく心「くそうっ」と言っちゃうか「よしっ」って言える人。「よしっ」って言えるようになると気持ちが自分に向くので、これから成長していける。

通知表の様式の変更について

今年度の1学期通知表より、内容の一部を変更いたします。

教科に関わる評価については従来通り、学習内容ごとの「◎」「○」「△」の評価を学校でしますが、「行動の記録」の部分については、「子どもを育てる評価から、子どもが育つ評価」への改善を目指し、児童自身による自己評価といたします。

行動の様子 ◎:よくできる ○:できる △:もう少し努力しよう		学期		
		1	2	3
1	自分から進んで気持ちのよいあいさつをしている。	/	/	/
2	くつをそろえたり自分の持ち物を整理整頓している。	/	/	/
3	忘れ物に気をつけ、学習の準備をすることができる。	/	/	/

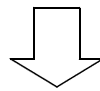
昨年まで

各学期の評価を学級担任が行っていました。



今までのよい面

- ・成果と課題に納得の形で伝わると、意欲につながる。



今までの問題点

- ・評価に込めた願いがうまく伝わらないと、意欲の低下につながる。
- ・担任に見えていない部分があり、担任の前では意識して行動してしまう子もいる。

行動の様子 ◎:よくできる ○:できる △:もう少し努力しよう		学期末		
		1	2	3
1	けがをしないように気をつけている。	/	/	/
2	時間をまもっている。	/	/	/
3	自分のものを大切にしている。	/	/	/

今年度

各学期に数回、自分を振り返って評価する。



自己評価に変えることにより

- ①自分を振り返り、頑張ったことに自己肯定感が高まる。自分の課題や目標をはっきりする。
- ②学期に何回か自己評価することにより、継続的に自分を振り返り目標設定ができる。
- ③保護者にとっても子どもが自分をどう見ているのか知るきっかけになる。

7月の予定

3日(月) 引落日・安全点検日
 4日(火) PTA救急法講習会 1、2年参観日
 5日(水) 4年長野市見学
 7日(金) 支部児童会
 11日(火) 3、4年参観日
 13日(木) 5年登山・キャンプ①
 14日(金) 5年登山・キャンプ②
 6年情報モラル教育
 3年足育(立ち方歩き方の学習)

18日(火) 5年計画休業
 19日(水) 学期末大掃除(～25日まで)
 20日(木) 5時間授業(～25日まで)
 6年社会見学 運動会DVD販売
 1、4年読み聞かせ
 23日(日) もちづき子ども祭り
 26日(水) 1学期終業式 4時間授業
 27日(木) 夏休み(～8月20日まで)
 31日(月) プール開放①